

令和4年6月29日付【日本下水道新聞】  
関西支部 第39回全体協議会  
＜育成事業に注力人材不足解決へ＞

育成事業に注力  
人材不足解決へ

水コン協関西支部  
第39回全体協議会

全国上下水道コンサル  
タント協会関西支部（押  
領司重昭支部長）は5月  
26日、第39回通常全体協  
議会を大阪市内で開催。  
令和4年度事業計画等4  
議案を承認した。水コン  
業界でも人材不足が課題  
となる中、育成事業に引  
き続き力を注ぐとの方針  
が共有され、今年度事業  
計画では関水コン技術講  
座の開催や兵庫県、京都  
府への講師派遣等を盛り  
込んだ。

押領司支部長は「水道  
では水道法改正による事

業の基盤強化が各地で進  
み、下水道では水防法の  
一部改正を含む流域治水  
関連法が成立した。また、  
令和3～7年度まで新た

に『防災・減災、国土強  
靱化のための5か年加速  
化対策』が定められるな  
ど、上下水道を取り巻く  
環境は大きく変化してい  
る。リモートワークなど  
仕事の進め方も変化する  
中、コンサル業界として  
も人材確保が課題。内外  
ともに大きく変わった2  
年間、さまざまな制約の  
中ではあるが、支部活動  
を進めていきたい」と述  
べた。

支部表彰では、同支部  
の幹事を平成26年～令和  
2年まで務めた小畑博之  
氏（昭和設計）に対し押  
領司支部長が表彰状を手  
渡した。



押領司支部長